





共通インストカード







2 人用

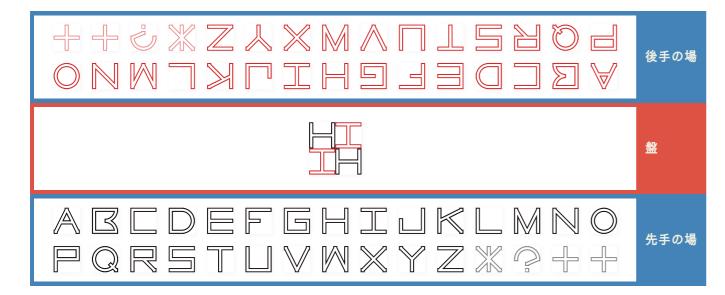
8 歳以上

1. 概要

- 初めに先手を決め、先手は黒、後手は赤のカードを手元に並べる
- プレイヤーは交互にカードを打ち、アルファベット順に並べることで得点を得る
- どちらもカードを全て使い切った段階で得点の高い方が勝利

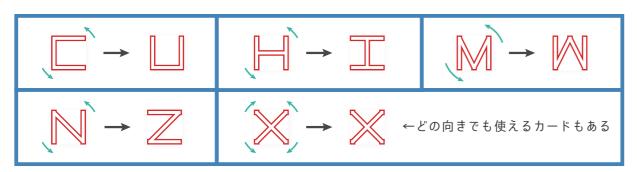
2. 準備

- 各プレイヤーの手元にカードをアルファベット順に並べ、机の中央に初期カードを置く
- それぞれの場にはアルファベットが1枚ずつ、記号は1枚ある(PLUS版は?、+を含む4枚)
- 初めは記号カード抜きでプレイするとよい



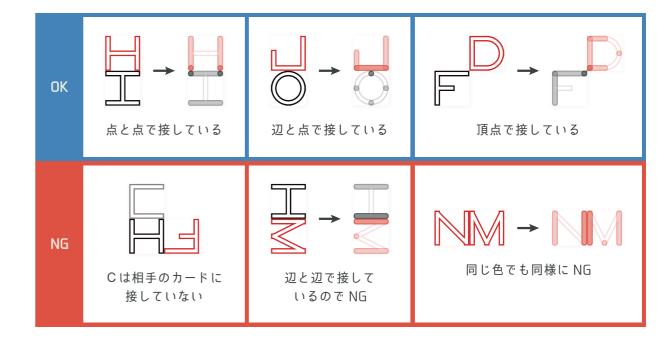
兼用カードについて

● 回転させても文字になるカードを兼用カードという



3. 着手

- プレイヤーは交互に盤上のカードの周囲に置いていく
- 相手のカードに1点以上接していると置ける
- 色に関係なく辺と辺で接していると置けない



4. 連鎖

- 隣同士の文字が同じ色かつ同じ向きで繋がることを連鎖といい以下の3種類がある
- 連番:文字がアルファベット順に並ぶこと(Zの次はA) ○ 3 連鎖から加点対象、逆順でも可
- ② ぞろ目:同じアルファベットが並ぶこと
 - 〇 2連鎖から加点対象
- ❸ ロイヤル:「CHAIN」が並ぶこと
 - 完成させたプレイヤーはその時点で勝利!

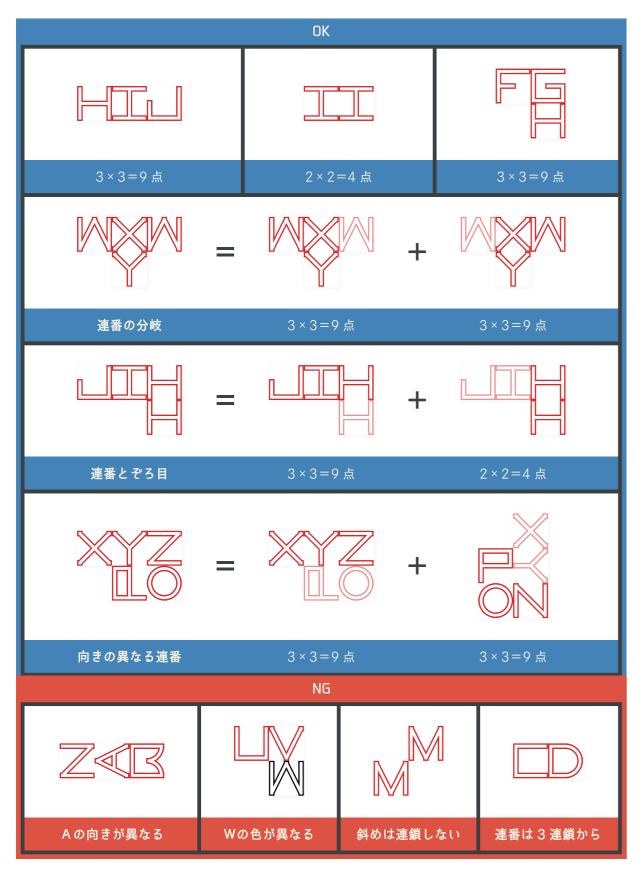
5. 得点

- お互いカードを全て使い切ったらゲームを終了し、得点を計算する
- 基本ルール:加点の対象である連鎖の文字数の2乗分得点が加算される ○ 3連鎖で3×3=9点
- ダイスルール:加点の対象である連鎖の文字に描かれたサイコロの数字分得点が加算される ○ ■ ■ = 3+4+6=13点
- 得点の高いプレイヤーの勝利



6. 連鎖の組み方

- 連鎖を多く組むためには兼用カードの活用が欠かせない
- 得点は基本ルールの場合



7. 記号カード

- ゲームに慣れてきたら記号カードを追加する
- 記号カードを活用すれば連鎖が組みやすくなる



8. 加点ルール詳細

● 特殊な連鎖における得点への換算方法について紹介する

